

授業概要

金融や貨幣は、経済を円滑に機能させるためのいわば血液のような存在です。普段は、その重要性に気づかないものですが、いったん金融が正常に機能しなくなると、経済活動は混乱し、停滞してしまいます。また、経済や企業活動と同様に、金融もグローバル化が進展しており、より多角的な視点が必要になっています。この授業では、金融市場や貨幣といった金融のミクロ的側面、バブルや金融政策といったマクロ的側面、銀行の役割や金融規制といった制度的側面そして企業の資金調達といったファイナンス的側面を、それぞれ基礎から学び、金融に関する理解を深めることを目的とします。

授業計画

| | |
|--------|-----------------------|
| 第 1 回 | オリエンテーション / この授業で学ぶこと |
| 第 2 回 | 金融システム、金融市場、金融仲介機関 |
| 第 3 回 | バブルと金融危機 |
| 第 4 回 | 貨幣の機能 |
| 第 5 回 | 企業の資金調達 |
| 第 6 回 | コーポレートファイナンスの実際 |
| 第 7 回 | 銀行の役割と課題 |
| 第 8 回 | グローバルな金融規制 |
| 第 9 回 | 利子率の基本的考え方 |
| 第 10 回 | 株式市場と株価、分散投資 |
| 第 11 回 | コーポレート・ガバナンス |
| 第 12 回 | 為替レートの決定要因 |
| 第 13 回 | 貨幣市場の需要と供給 |
| 第 14 回 | 中央銀行の役割 |
| 第 15 回 | 金融政策 |
| 第 16 回 | 期末試験 |

到達目標

金融のミクロ的側面、マクロ的側面、制度的側面そしてファイナンス的側面を、それぞれ基礎から学び、金融に関する理解を深めることを目的とします。人々が銀行預金をする、また株式投資をする意味、企業が株式を発行する意味、アベノミクスの意義などを理解できるようになることを目標とします。

履修上の注意

この授業は、基本的には講義形式で進めますが、積極的に質問するなどして疑問点を解決する努力を期待します。また、予習、復習をきちんとすることと、毎回出席することを求めます。

予習・復習

各回の講義で予定されている教科書の箇所を事前に読んで理解するとともに、各回の授業終了後に内容を復習することを求めます。

評価方法

期末試験（70%）と小テスト（30%）に基づき、総合的に評価します。

テキスト

主に、次の書籍を教科書として使用する予定です。

- ・教科書名：『グラフィック 金融論（第2版）』
- ・著者名：細野 薫・石原 秀彦・渡部 和孝
- ・出版社名：新世社
- ・出版年（ISBN）：2019年（ISBN 978-4-88384-289-6）